

## 2026 年度科目等履修生・聴講生へ提供する文学部科目（専門教育科目）に関する申し合わせ

文学部・専門教育科目については、下記科目を除き、全ての科目を科目等履修生・聴講生へ提供することとしたい。

### 【履修を許可しない科目】

- 演習科目〔知へのパスポート、知のナビゲーター、専修ゼミ、卒業演習 等〕
- 実習科目〔ICT ベーシックス（旧カリ：情報処理入門）、情報処理(各テーマ)、プログラミング、地理学・地域環境学実習 社会教育実習 等〕
  - ※ただし、社会教育実習については、本学を卒業した者に対しては提供する。
- 必修科目〔専修研究〕
  - ※ 外国人研究生の受講科目の取り扱いについては、科目等履修生・聴講生の受講科目の取り扱いに準ずることとなっているが、専修研究については、指導教員の許可を得たうえで、外国人研究生に対しては提供する。
- 初等教育学専修が開設する科目
  - ※ ただし、初等教育学専修が開設する科目は、初等教育学専修卒業者に対しては提供する。
- 総合人文学科目〔総合人文基礎講義（各テーマ）、専修横断講義（各テーマ）、専修横断演習（各テーマ）、情報社会と研究倫理〕
- 日本語教授法、日本語教育方法論、日本語教育授業分析、日本語教育実習
  - ※日本語教師養成講座科目のうち、内容的に演習・実習科目に相当すること、および養成講座のほかの必修科目(言語学研究・日本語学概論（旧カリ：国語学概論）・日本語教育概論)を履修していることが前提となる科目のため。  
ただし、本学文学部に 2019 年度以降に入学し、卒業した者に対しては提供する。
- 定員制科目〔正規生多数の場合、受入不可になることがある〕
  - ・書道（一）
  - ・書道（二）
  - ・音楽論 a / b
  - ・地理学・地域環境学調査研究法 a / b
  - ・地理情報システム a / b
  - ・情報メディアの活用
  - ・図書館情報技術論
  - ・教育文化と図書館情報学（旧カリ名称：情報探索と情報利用 a）
  - ・教育政策と図書館（旧カリ名称：電子図書館 a）
  - ・映像制作論（旧カリ：映像メディア制作論）
  - ・博物館実習（※土曜クラスのみ受入可）
  - ・Intensive English Program I
  - ・Intensive English Program II
  - ・Intensive English Program III
  - ・Intensive English Program IV

※ 以下の科目は、教員免許取得希望者のみ受入可

- ・外国語演習 I～VI（ドイツ語）
- ・外国語演習 I～VI（中国語）
- ・外国語演習 I～VI（フランス語）

※「博物館実習（土曜クラスのみ受入可）」は、本学卒業者で履修年度に学芸員資格を取得見込みの者に限る。（コースによる出願の際は、本学卒業者に限らない。）

なお、受講希望者に対しては、配当年次や講義要項（シラバス）をよく理解したうえで申し込みを行うように対応することとしたい。

以 上